

普及項目	養殖
漁業種類等	養殖業
対象魚類	ノリ
対象海域	八代海

ノリ養殖指導

県南広域本部水産課・向井宏比古

【背景・目的・目標（指標）】

八代海のノリ養殖は、生産期の高水温化、色落ちの早期発生等により、令和 5 年以降は漁獲がなく、生産不振が続いている。

そのため、八代海におけるノリの安定的な養殖生産を目的として、生産初期の採苗指導や海況養殖状況調査を行い、養殖業者に情報提供を行った。

【普及の内容・特徴】

（１）カキ殻熟度検査（令和 7 年(2025 年)11 月）

内容：カキ殻胞子の成熟状態を確認し、採苗のタイミングや水槽管理に関する技術指導を実施した。

（２）採苗指導（令和 7 年(2025 年)11 月）

内容：採苗中の芽数や芽いたみ等の情報提供及び養殖指導を行った。

（３）養殖状況調査令（令和 7 年(2025 年)11 月～令和 8 年（2026 年）2 月）

内容：宇城市三角町里浦地先（図 1）で、原則週 1 回、漁場環境調査（水温、比重等）、ノリ葉長計測及び養殖指導を行った。

【成果・活用】

表 1 のとおり、養殖状況等の調査を実施した。

表 1 養殖状況等調査の実施状況

	(1) カキ殻 熟度検査	(2) 採苗調査			(3) 養殖状況調査									
		1 回	2 回	3 回	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回	6 回	7 回	8 回	9 回	10 回
日付	11/5	11/7	11/8	11/9	11/26	12/3	12/10	12/17	12/24	1/7	1/14	1/21	1/28	2/4
葉長 mm	－	－	－	－	0.4	0.5	0.5	0.5	0.8	1.0	1.5	2.0	2.0	4.0

今年度は、漁期中の降水量（三角観測所）が、平年比で 11 月は 38%、12 月は 57%、1 月は 23%と記録的な少雨であった。また、漁期始めの 11～12 月に珪藻赤潮（*Eucampia* 属）が発生した。これらの状況から、漁場の栄養塩は、ノリの生長に必要な期待値（窒素量で 7ug・at/L）を大きく下回っており（図 2）、ノリ葉体への栄養障害が発生するなど、生長が著しく阻害され生産には至らなかった（図 3, 4）。

また、当課では、ノリの生産不調を踏まえ、栄養塩の供給が期待される河口周辺の塩

分測定を行い、既存の区画漁業権漁場内における養殖適地の検討を併せて実施した（図2, 5）。調査結果については、今後、漁業者と種場やノリ網展開場所の検討のために、活用する予定である。

【達成度自己評価】

4 目標（指標）はほぼ達成できた（76～100％）

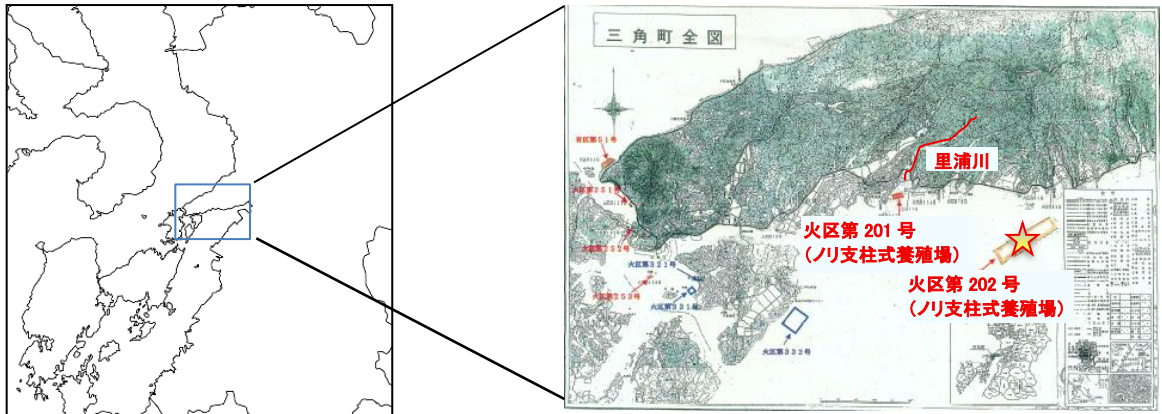


図1 養殖状況調査定点図（☆地点）

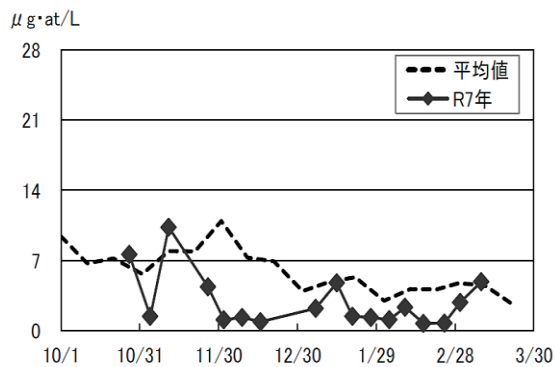


図2 栄養塩（窒素量）の推移（三角地区）
（出典：熊本県水産研究センター：ノリ漁場栄養塩情報）

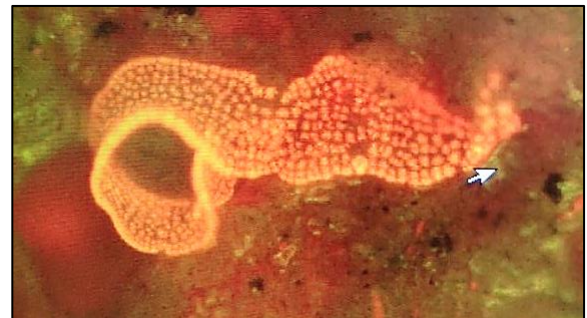


図3 栄養障害を受けた葉体の状況
（12月24日：採苗後7週目）



図4 ノリ網の状況
（12月24日：採苗後7週目）

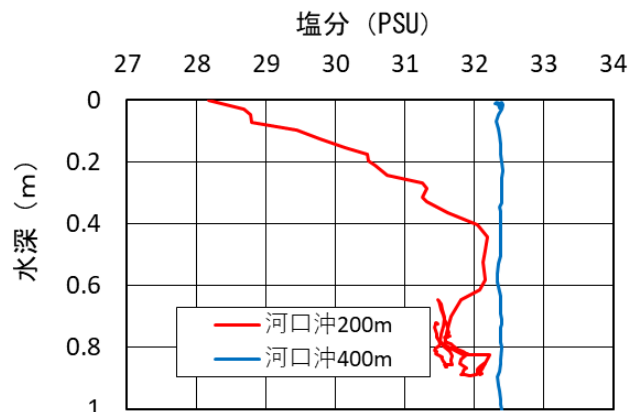


図5 里浦川河口沖 200m及び 400m
地点の塩分の鉛直分布